

平成21年度 企画事業

免許状更新講習

「授業づくりに活かせる体験活動」報告書

～海が学校！海が先生！～

1. 必要性

平成21年度から開始された「教員免許更新制」は、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊厳と信頼を得ることを目的としている。

今日の子どもの現状として、基礎的な体力の不足や低下、基本的な生活習慣や生活リズムの乱れ、意欲を持ってないことや希薄な対人関係などが指摘されるとともに、いじめ、不登校、引きこもり、学級崩壊などの問題が顕著になっている。

こうした問題の原因として、子どもへの保護者の関与の低さや地域の大人の関わりの少なさ、そして、自然とのふれあいや仲間との交流の少なさといった直接体験の不足があげられる。このような状況に対応するため、平成20年3月に告示された学習指導要領においては、子どもたちに社会性や豊かな人間性をはぐくむため、その発達段階に応じ、集団宿泊活動（小学校）、職場体験活動（中学校）、奉仕体験活動や就業体験活動（高等学校）を重点的に推進するとしている。

体験活動の充実を図るためには、教員自らの体験を豊かにするとともに、教員が体験活動に関する基礎的な知識技能を身につけることが求められている。

2 趣 旨

小学校教員が体験活動の意義について理解するとともに「海」を中心とした基本的な体験活動指導技術を実習を通して身に付ける。また、学習指導要領における体験活動の取扱いを理解し、教育課程の編成や教育活動に体験活動を取り入れる方法を講義や実習を通して習得する。

3 期 日

平成21年11月21日（土）～11月23日（月） 2泊3日

4 会 場

江田島市大柿自然環境体験学習交流館（江田島市大柿町深江1073番地の1）

（本所が耐震工事により閉所中のため共催施設で開催）

5 参加者

（1） 募集対象・人数

小学校教諭等30名（養護教諭、栄養教諭は除く）

平成21年3月31日までに教員免許状を授与された現職教員（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教諭、講師（臨時講師、非常勤講師を含む。）養護教諭）等で、平成23年3月31日時点で

満35歳（昭和50年4月2日～昭和51年4月1日生まれ）

満45歳（昭和40年4月2日～昭和41年4月1日生まれ）

満55歳（昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生まれ）

※小学校の事例を多く扱うため、主な対象を小学校教諭としたが、中学校教諭・高等学校教諭等も受講可能とした。

(2) 参加人数 10名（男性6名 女性4名）

(3) 参加者分析

小学校教諭5名，中学校教諭5名

(4) 参加地域 広島県9名，愛媛県1名

6 内容

(1) 教育の課題に関する理解 (1.5h)

〔講義〕新しい時代の新しい教育 京都造形芸術大学芸術学部教授 寺脇 研

(内容) 世界が大きな変わり目の今、子どもたちが今後夢と希望を持って生き抜く力を身につける教育に関する講義

(2) 体験活動に関する理解 (2.0h)

〔講義〕体験活動の意義と学習指導要領 広島大学大学院教育学研究科教授 林 孝

(内容) 子どもの現状を踏まえ体験活動の必要性と教育効果、また、教育課程における「体験活動」の位置づけに関する講義

(3) 体験活動に関する技能の習得

〔実習〕教室のできる「心を育む活動」(2.0h) 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 岡川 和彦

(内容) 様々な体験活動を通して子どもたち同士，子どもたちと教員との豊かな人間関係を育む実習

〔実習・講義〕海辺の生き物観察と指導法①～③ (7.0h) 大柿自然環境体験学習交流館館長 西原 直久

(内容) 海辺の生き物の観察及び採集を行い、実物体験の意味と指導法を理解する実習・講義

〔実習・講義〕カッター研修 (2.0h) 国立江田島青少年交流の家主任企画指導専門職 植田 佳宏

(内容) カッター研修の教育的効果に関する実習・講義

〔実習〕 野外炊事 (2.0h) 国立江田島青少年交流の家主任企画指導専門職 植田 佳宏

(内容) 宿泊活動でよく行われる「野外炊事」の基礎的な技術を習得する実習
(かまどづくり・炊事・安全指導など) 海辺で採取した魚介類を使っての野外炊事

(4) 履修認定試験 (1.5h)

7 日程

【第1日目】 11月21日(土)

12:00 12:30		13:00		15:00 15:20		17:20 18:30	
	受付	開講式 ガイダンス	実習 教室のできる「心を育む」活動 (2.0h) 【講義室】	休憩	実習・講義 海辺の生き物観察と指導法① (2.0h) 【実験室】	休憩	夕食 (情報交換会) 【談話室】

【第2日目】 11月22日(日)

5:30		8:30 9:30		11:30 13:00		15:00 15:30		18:30	
実習・講義	朝	実習・講義	昼	実習・講義	休	実習			
海辺の生き物観察と 指導法②(3.0h)	食	海辺の生き物 観察と指導法③ (2.0h)	食	カッター研修 (2.0h)	憩	野外炊事(3.0h)			
大柿釣附海岸周辺		【実験室】		深江港周辺		【校庭】 【調理実習室】			

【第3日目】 11月23日(月)

7:20 9:15		11:15 11:45		12:45 14:15		15:45 15:55		16:25	
朝	講義	休	履修認定	昼	講義	休	履修認定	閉	
食	「体験活動の意義と 学習 指導要領」(2.0h)	憩	試験① (1.0h)	食	「新しい時 代の新しい 教育」(1.5h)	憩	試験② (0.5h)	講	
	【講義室】		【講義室】		【講義室】		【講義室】	式	

8 参加経費

22,000円

9 企画・運営のポイント

- 体験活動を実施する際必要な指導技術を効果的に学ぶことができるように「学んだことがクラスで使える」内容に留意して、海辺での生物観察やカッター研修などの体験活動を行った。
- 参加者の学習意欲を高めるために、多くの生き物の観察が可能になる潮位が最も低くなる日時に海辺の観察時間を設定した。
- 夏休み中にクラブ活動の指導等で時間の確保が難しい教員も参加しやすいよう11月下旬の三連休中に事業を実施した。
- 「海」を中心とした基本的な体験活動指導技術が習得できるようにするために長年、地元の海辺の生物を調査・研究し熟知している博士(理学)で江田島市大柿自然環境体験学習交流館の西原館長と企画段階から綿密な連携を行った。

10 広報のポイント

地元新聞社の支局(中国新聞江田島支局)を訪問し本事業の趣旨・内容等の説明を行い、新聞記事へ募集の掲載をしていただいた。

11 安全管理のポイント

- 江田島市大柿自然環境体験学習交流館と連携し、活動場所、海岸、港湾等の事前踏査、周到的な物品準備物、スタッフの共通理解を図った。
- 開講式後にはオリエンテーションを行い、受講者に危険箇所や危険な動植物等について周知した。また、講義の開始時には健康観察を実施し、受講者の体調の把握と健康管理に努めた。

12 事業成果

- 終了後のアンケート結果(総合的評価:よい90%, だいたいよい10%)や講習が終了し

た翌日には「講習で元気が出て、今日の授業は頑張れました」と受講した教員からの喜びの電話があるなど、受講者全員から満足できる評価があった。

- 「学んだことがクラスで使えそう」などのアンケートの記述があり、受講者に授業や学級経営に活かす体験活動の理論や技術について十分な理解を得ることができた。
- 中国新聞に免許状更新講習の記事掲載があったことで、掲載当日に問い合わせがあるなど効果が大きかった。

13 普及実績

- 第3日目の「教育の課題に関する理解」（寺脇研講師）の講義を公開講座にしたことで、広島県教育委員会、江田島市教育委員会や学校教員、地域住民の参加も得ることもでき、免許状更新講習の広報と普及につなげることができた。
- 終了後にも地元の中国新聞に免許状講習についての記事が掲載されるなど講習の内容を普及することが出来た。
- 講習内容及び成果について当施設ホームページで紹介する。その際に、受講した教員が作成した講習中の写真をまとめた写真データをあわせて掲載することで事業成果の普及に努めたい。